

★ 基礎看護学実習 学生用注意事項 チェックリスト★

以下は基礎看護学実習中に学生が良く注意を受ける事項についてまとめたものです。実習期間中は、施設実習内外で、身だしなみを整え、姿勢や態度にも十分に注意をしてください。

看護大学の学生として、常に、大人として人から見られる立場にあることを自覚し、周囲の人への配慮を意識してください（あなたは気づかなくても、誰かが見えています）。

1. 身だしなみについて

- 髪の色や髪型は看護学生として問題ない（以下のようなことはない）。
 - ・髪の色が明るすぎる（色素の薄い体質の学生は事前に必ず報告すること）。
 - ・ほつれ毛が多い、横の髪が顔にかかる、シュシュやリボン等の使用。
- まつげのエクステンションはしていない。
- カラーコンタクトの装用や華美な眼鏡の着用はしていない。
- 華美なメイク（ラメ入りなど）はしていない。
- 爪は伸びていない・不潔ではない。
- ユニフォームに汚染や悪臭、しわはない。
- インナーはユニフォームから透けて見えたり、はみ出したりしていない。
- 派手な靴下を着用していない。
- 香水や整髪料、香りの強い柔軟剤の使用はしない。

※病棟への移動時の防寒用にカーディガンを着用してもよいが、病棟では脱ぐこと。

2. 態度や姿勢について（※これらは社会人として当たり前のことです）

- 施設内で出会う人々への挨拶を忘れないこと。また、時と場合に応じて自己紹介をすること。
- 指導を受ける際、指導者が立っているときは自分も起立する（座ったまま見上げないこと）。
- ケアの見学時（リハビリテーション等の見学も含む）に、後ろ手や腕組みをしない。また、片側に重心を寄せるような立ち方をしない。
- 実習施設のエレベーターを利用するときは、他の利用者を優先する。そのため時間に余裕を持ってエレベーターを利用する。
- 使用した机やテーブル、椅子は元の位置に戻す。最終退出時は消灯し、空調設備の電源を切る。
- 記録類はまとめて邪魔にならないように置く。消しゴムのカスやゴミを残さない。
- 病棟内だけではなく、施設内（廊下や階段）や通学途中でも、身だしなみ（髪をほどく）や態度（大声で話さない、広がって歩かない等）に注意をする。
- 病棟へは、携帯電話を持ち込まない（ロッカーに入れておくこと）。

※教員や指導者に注意される前に、お友達同士でお互いに確認しましょう。

3. 看護技術の事前確認について

患者さんは、あなたの練習台ではありません。

実習で実施する機会のある技術について、事前に工夫して、十分に確認すること。

以上に気をつけ、実りの多い実習となるようにかんばりましょう！☺☺☺

